

令和5年(2023年)2月27日
都市環境委員会
報告事項資料
都市計画部土地利用計画課

北野下水処理場・清掃工場跡地活用基本構想(素案)に係るパブリックコメントの実施について

1 報告趣旨

北野下水処理場は、流域下水道への編入に伴うポンプ場整備が完了する令和6年度(2024年度)以降に敷地の一部が不要となる。また、北野清掃工場は令和4年(2022年)9月に稼働を停止したところである。このような背景を踏まえ、公共施設の再編を契機とした北野地区全体のまちづくりを進めるにあたり、「北野下水処理場・清掃工場跡地活用基本構想」の素案を策定し、パブリックコメントを実施することから、その内容について報告する。

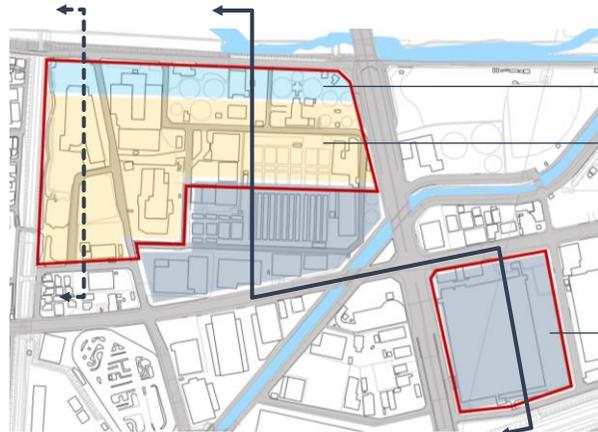
2 報告内容

(1) 計画内容（詳細は別紙参照）

ア テーマとビジョン

テーマ	ビジョン
 産業と都市の共生	職住の融合とともに、資源の使用を抑え、製品・消費・リサイクルが循環する循環型経済による産業と都市の共生が実現している
 環境の再生	地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入、自然環境に付加価値を生み出す環境再生（リジェネレーション）により、環境学習や脱炭素社会をリードしている
 自分らしさを表現できる場	音楽・創作活動・アーバンスポーツなど、まちなかでは難しい多様な用途が許容され、よく使われる都市空間を形成している
 都市のレジリエンス	災害リスクに備えた施設計画と既存防災機能との連携などにより、防災に対する学びや災害時の活動支援に貢献している
 歴史・資源	新しいものにはない良さを持つ既存施設・みどりなどの資源は活用され、地域への理解が深まるとともに、事業の多様性や経済の活力が高まっている

イ 空間構成の考え方



パブリックゾーン

ミクストユースゾーン

産業ゾーン

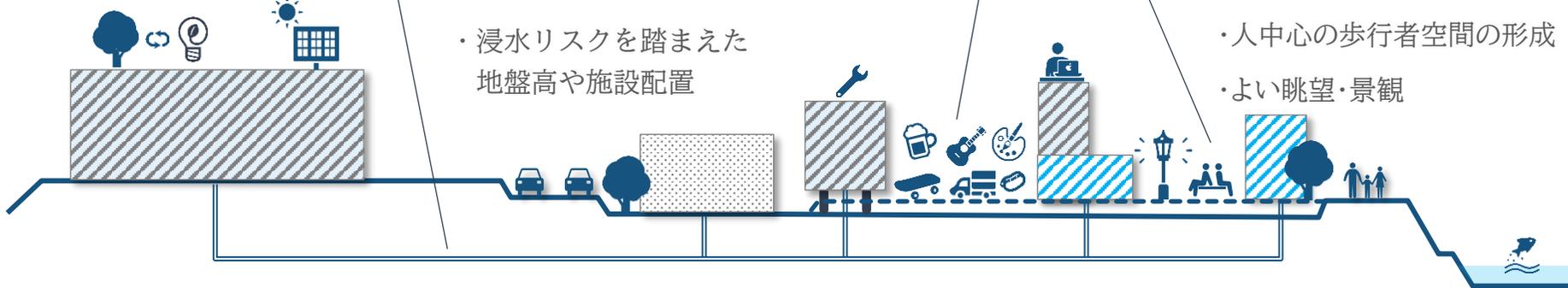
- ・産業機能は産業ゾーン、ミクストユースゾーンを中心に配置

- ・多様な過ごし方ができる場の提供
- ・まちに開いたグランドレベル
- ・人が滞留できる場の提供
- ・異なる年代の建物の共存

- ・再生可能エネルギー
パッシブデザインの導入

- ・エネルギーの地産地消
災害時にも事業継続可能な地域の形成
- ・浸水リスクを踏まえた
地盤高や施設配置

- ・人中心の歩行者空間の形成
- ・よい眺望・景観



産業機能

パブリック機能

産業ゾーン

ミクストユースゾーン

パブリックゾーン

南街区

道路

ポンプ場

北街区

道路

水辺

ウ 実現化に向けた取組

本構想の具現化に向けては、民間主体のまちづくりを誘導することとし、財政負担を抑制しながら、質の高い公共空間を整備・運営する方法を主に以下の4つの視点で整理・検討する。

取組1 事業手法の検討

視点1	視点2	視点3	視点4
民間事業者の <u>投資意欲を高める跡地活用</u> の条件	使われる公共空間の「 <u>しつらえ</u> 」と持続可能な運営に向けた <u>市民・企業との協創によるエリアマネジメント</u>	補助金の効果的な活用、民間事業者による施設撤去、既存施設のリノベーションなど、 <u>経済性と即時性を高める方法</u>	開発を見据えた前面道路の拡幅、施設再編による用地の確保など、 <u>土地の活用の幅を広げる方法と施設再編の波及効果によるエリア価値の向上</u>

取組2 公共施設の再編

公共施設は以下の考えのもと再編を進め、跡地の有効活用を図る。

下水処理場	ポンプ場が完成したのち <u>不用となる施設は、市が国の補助金を活用して撤去する。</u>
清掃工場	<u>焼却施設は廃止する。不要施設の撤去は、民間による施設整備との一体的な実施を検討する。</u>
環境学習センター	清掃工場の熱源を失ったことやライフサイクルコストを踏まえ、機能更新を視野に維持管理する。 <u>機能更新の際、本地区に必要な機能は民間施設を一部賃借するなど、公共による施設整備を伴わない手法を検討する。</u>
衛生処理センター	施設の老朽化が進んでいることから、 <u>広域化も視野に入れつつ、土地活用の状況を踏まえ、北野地区内の移転も含め検討する。</u> 財政支出抑制の観点から当面は修繕しながら現状維持する。

エ 事業スケジュール

	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
全体計画	基本計画	公募		官民調整				
北街区			施設撤去（下水処理場）			施設整備	施設撤去（下水処理場以外）	
南街区			施設撤去			施設整備		
市民参加		シンポジウム・WS など						

※  点線は時期未定

(2) パブリックコメントの実施

- ア 期間 令和5年（2023年）3月15日（水）～令和5年（2023年）4月14日（金）
- イ 周知方法 広報はちおうじ3月15日号、市ホームページ
- ウ 閲覧場所 土地利用計画課、市政資料室、市民部北野事務所、北野市民センター、市ホームページ
- エ 提出方法 郵送、FAX、電子メール、窓口への提出

(3) 構想（素案）に関する説明会

令和5年（2023年）3月26日（日）午前10時00分～午前11時00分

会場：生涯学習センター（クリエイトホール） 11階 視聴覚室

(4) 今後の予定

令和5年（2023年）4月 「北野下水処理場・清掃工場跡地活用基本構想（素案）」の策定及び公表